

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
麻生外語観光&製菓専門学校		平成3年1月8日	竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2288		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999		
目的	多様化する観光業界で必要とされる専門知識、専門資格、技能を備え、実社会で通用する人材の育成を目標とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
商業実務	商業実務 専門課程		トラベル科		平成22年文部科学 省告示第31号		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		1749	1530	480	168	0
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人		79人	2人	17人	19人		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価		
長期休み	■夏季:8月9日～9月11日 ■冬季:12月25日～1月11日 ■学年末:3月10日～4月3日		卒業・進級 条件		ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書(医師の診断書 等)提出		課外活動		■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有		
就職等の 状況	■主な就職先、業界等 航空、鉄道、船舶、旅行、ホテル 等 ■就職率 ^{※1} : 95.6 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 95.6 % ■その他 学科名変更のため、上記の就職率、割合は トラベルビジネス科の数値(現トラベル科) (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年4月1日 時点の情報)		主な資格・ 検定等		国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 国内旅程管理主任者 AMADEUS検定 Word検定 Excel検定		
中途退学 の現状	■中途退学者 4名		■中退率 4.6 %		平成27年5月1日 在学者 87名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 83名 (平成28年3月 卒業者を含む)		
	■中途退学の主な理由		進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等				
	■中退防止のための取組		担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等				
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/aftc/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、旅行、運輸業界において必要とされる知識・技能の修得を目指す。実践的科目として企業からの派遣講師による授業を実施(航空予約端末授業、添乗員の実務授業)。また、体験実習期間における企業訪問時に企業側と面談し、企業の求める人材や身につけさせるべきスキルの聞き取りを行い、業界現状と一致した人材の育成を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
木村 弘	株式会社トップスタッフ九州支店 主任
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部
三笥 秀一郎	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任
若松 昌枝	麻生外語観光&製菓専門学校 トラベル科 専任教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年6月25日 15:30~17:30

平成27年度 第2回 平成27年10月22日 15:30~17:30

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30~17:30

平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30~17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実践的な科目(航空予約端末授業、添乗員の実務授業)において企業側講師による授業を実施。1年次に2週間の業界実習を経験し、現場に必要なスキルと知識・実務を学習する。実習後に報告会を行い、成果を共有することで、業界の全体像把握や就職活動に活用する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
海外商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ
国内商品分析	国内旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。定期的な企業からのヒアリングや航空各社の企業説明会に参加し情報収集することにより、航空業界の現状を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科1年生 保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生
久永 妙美	平成21年度 卒業生

浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
加藤 博志	九州B.M.C.会長
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長
長 加奈子	福岡大学 准教授
芳野 香織	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 国際旅客サービス課マネージャー
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 ラインハンドリング3課マネージャー
平野 孝文	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長一人材開発担当
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
江口 克司	株式会社ニューオータニ九州 ブライダル担当部長
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長
宮川 正和	パティスリーポッシュ オーナーシェフ
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
船橋 修	ロイヤルホールディング株式会社経営企画部ロイヤルグループ採用・教育担当課長
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_aftc.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/> (麻生外語観光&製菓専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程トラベル科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			旅行業法	国家試験科目である、旅行業における法律など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			旅行業約款・各種約款	国家試験科目である、旅行業と旅行者の取消料や責任範囲など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○			○	○			
○			国内地理対策	国家試験科目であり、観光地・お土産・名物料理など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			国内運賃料金	国家試験科目である、JR・航空・バス・フェリー・宿泊などの運賃/料金計算や払い戻しなど専門科目を学び国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○			○		○		
○			国際航空運賃I	国家試験科目である、国際航空運賃の計算方法や、タリフの見方など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			出入国実務I	国家試験科目である、旅券の申請・受領や検疫、免税品など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			海外実務I	国家試験科目である、OAG時刻表・トーマスクック時刻表の見方や、時差計算など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			海外地理対策I	国家試験科目である、首都や観光地など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○		○		
○			総合旅行業取扱管理者対策I	国家試験対策として、国際航空運賃、出入国実務、海外実務、海外観光資源の再学習を行い資格取得を目指す。	1後	30	2	○			○	○			
○			観光概論	学科が目指すべき業界の業務内容・職種・企業の研究を行い、自身の就職活動の方向性を認識させ、次年度の就職活動に活かす。	1後	15	1	○			○	○			
○			観光演習	時刻表（JR・航空）などを活用し、お客様に対して的確な情報伝達手段を取得し、地図を活用した基礎的なプランニングについて学ぶ。	1後	15	1	△	○		○		○		

○		卒業制作	業界の学習の集大成としてオリジナルパンフレットの作成や商品プレゼン資料の作成演習	2後	30	2	△	○	○	○								
○		海外商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げる	2前	30	2		○	○						○	○		
○		国内商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げる	2後	30	2		○	○						○	○		
○		カウンター接客演習	旅行業における実践的なカウンターでの接客技術を学ぶ。	2前	30	2	△	○	○						○			
○		AMADEUS II	航空券予約、運賃計算、発券方法等についてアマデウスアルティアを操作し出来るようになる。またAir Expertを取得する。	2前	45	3	△	○	○						○			
○		国内プランニング実務	旅行業界で国内のパンフレット作成の際に必要なプランニングの知識・技術を身につけ、業界就職の際に現場で活かす。	2後	15	1	△	○	○						○			
○		インバウンド概論	旅行業界におけるインバウンド事業の内容と現状を学習する。	2後	15	1		○	○									○
○		ディスプレイ演習	店舗づくり、POP、パンフレットの作成技術を学ぶ。	2後	30	2		○	○						○			
○		観光地理	現場に必要な最低限の観光地・お土産・名物料理などの内容を再学習する。	2後	30	2		○	○									○
○		国際航空運賃Ⅱ ※A	国家試験科目である、国際航空運賃の計算方法や、タリフの見方など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2		○	○						○			
○		出入国実務Ⅱ ※A	国家試験科目である、旅券の申請・受領や検疫、免税品など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2		○	○						○			
○		海外実務Ⅱ ※A	国家試験科目である、OAG時刻表の見方や、時差計算など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2		○	○									○
○		海外地理対策Ⅱ ※A	国家試験科目である、首都や観光地など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2		○	○									○
○		総合旅行業業務取扱管理者対策Ⅱ ※A	国家試験対策として、国際航空運賃、出入国実務、海外実務、海外観光資源の再学習を行い資格取得を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2後	30	2		○	○						○			

○	○	ビジネス文書※B	仕事上で必要なビジネス文書の基礎を学び、ビジネス文書検定の取得を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○			○	
○	○	手話入門※B	基本的な手話を習得し、聴覚障害者とのコミュニケーションが図れるようになる。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○			○	
○	○	インターネット旅行情報検索※B	インターネットの基礎知識を学び、旅行情報を収集、整理、資料作成の技術を習得する。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2後	30	2	○	△		○			○	
○	○	ニューツーリズム概論※B	グリーンツーリズムを中心にエコツアー、産業観光など、様々な旅行形態の概要を知る。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○			○	
○	○	セールス実務※B	営業職に限らず、旅行業でのカウンターや広く接客業での最低限の知識を身につけ、社会に役立つスキルを身につける。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2後	30	2	○	△		○			○	
○	○	一般教養ⅡA	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社試験において一般常識試験に対応できる応用力を養成。	2前	30	2	○			○			○	
○	○	一般教養ⅡB	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社後において必要な一般知識の学習。	2後	15	1	○			○			○	
○	○	ビジネス実務Ⅱ	ビジネス実務検定(ジョブパス)対策を通して、現場で活用できるビジネススキルを身につける。	2前	30	2	○			○			○	
○	○	社会教養ⅡA	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。	2前	30	2	○			○			○	
○	○	社会教養ⅡB	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。	2後	30	2	○			○			○	
○	○	サービス介助	高齢者の方々、お体の不自由な方々に対するサービスにおいて、ケアの基本的動作を勉強し、社会に役立つサービススキルを学ぶ。	2後	30	2	△	○		○			○	
○	○	ソーシャルスタディ	健康維持、体力向上を図ることを目的に、スポーツを取り入れることで、気分の充実を図る。文化教養に触れることで知識の習得と社会的視野を広げることを目的とする。	2後	30	2	△	○					○	○
○	○	業界ビジネス英語A	添乗業務や予約業務等の旅行業界で業務をしていく様々な場面を想定し、必要な英語知識を学習。	2前	30	2	○			○			○	

○		業界ビジネス英語B	添乗業務や予約業務等の旅行業界で業務をしていく様々な場面を想定し、必要な英語知識を学習。	2後	30	2	○			○		○	
○		GCB II	就職動機や将来のキャリアビジョンを自分の言葉で表現できるように志を立てていく土台を築かせる。	2前	15	1	○			○		○	
	○	旅行会話(英会話)	日常の英会話の基本から、旅行業界に必要なサービス会話を中心に学ぶ。	2前	30	2	○			○			○
	○	旅行会話(韓国語)	ハングル文字等、韓国語の基礎を学び、簡単な日常会話レベルの韓国語習得を目指す。	2前	30	2	○			○			○
		○ 実用英語対策II	観光英語検定取得を軸に置き、旅行業界で必要な英語知識を学習する。	2後	30	2	○			○			○
合計					59科目		1749単位時間(115単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。